

当大学で行っている 文科省「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」委託事業 『周産期からの子育て支援拡充に向けた専門職再教育プログラムの開発』 の紹介

島根県立大学 健康栄養学科
准教授／医学博士 名和田 清子

平成19年度より、当大学で、文科省「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」委託事業『周産期からの子育て支援拡充に向けた専門職再教育プログラムの開発』を受託実施することとなったので、その事業について紹介する。

1. 文科省「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」委託事業とは

政府が推進する「再チャレンジ支援総合プラン」の関係施策の一つとして実施されている事業で、大学・短期大学・高等専門学校における教育研究資源を活用し、産業界や関係団体等と連携しながら、社会人の「学び直し」のニーズに対応した、再就職やキャリアアップ等につながる実践的かつ体系的な比較的短期間の教育プログラムを開発・実施するものである。文部科学省が、大学・短期大学・高等専門学校に公募し、選定、委託して行う。平成19年度は315件の公募があり、126件が採択された。

2. 当大学で実施している『周産期からの子育て支援拡充に向けた専門職再教育プログラムの開発』について

【本事業の目的】

地域の少子化対策・子育て支援に関わる現場では、近年の新たな支援ニーズに特化したより専門的な知識と、より高度な「対人援助」スキル、地域の「専門職連携」の中で「支援計画」に参画できる職能が必要とされるが、現在の大学・短期大学等の養成カリキュラムでは、これらの専門性を修得することは困難で、卒後の再教育カリキュラムの構築が課題となっている。また、各種の少子化対策の取り組みで「個別の支援のための人材」が求められ、支援専門職の絶対数が不足している。そこで、本事業は、保健・栄養領域及び保育・教育領域の専門資格・免許をもつ現職者と、資格を持ちながら離退職した者を対象として、子育て支援に関わる人材を再養成するための教育プログラムを開発することを目的とした。新たな職能ニーズに対応した再教育プログラムを、研修ニーズを把握する専門職団体、行政機関と連携して研究開発し、新たな子育て支援施策に対応した人材養成をめざす。

【事業計画及び実施体制等】

本事業の概要を図1に示す。本学健康栄養学科・保育学科および看護学科教員が協力してプログラムの実効の開発研究に携わる。カリキュラムの修正開発により3年間で履修システムの完成をめざす。

【教育プログラム】

この教育プログラムの対象者は保健・栄養領域（助産師・保健師・看護師・栄養士・管理栄養士）と保育・教育領域（保育士・幼稚園教諭・養護教諭・特別支援学校教諭・小学校教諭）の専門資格・免許をもつ現職者と、資格を持ちながら離退職者とする。教育プログラムには「①産後うつ・虐待予防コース」、「②食育コース」、「③早期発達支援コース」の3コースを設け、それぞれ、基礎カリキュラムと専門カリキュラムで構成する。基礎カリキュラムでは、『母子保健領域・健康栄養領域・保育教育領域に共通する子育て支援の基礎課程を修得し、チーム支援の中で子育て支援に関する専門的手法を理解できる』ことを、専門カリキュラムでは『自分の専門領域で支援者として相談業務を実

行し特別に支援が必要な家族や子どものための個別支援の方法を立案してチームで実現できる』ことを目標とする。カリキュラムの内容を表1に示す。専門カリキュラムは基礎コース修了者を対象とする。教育プログラムの評価は、授業評価アンケートと受講者自己評価をもとに、開発調査委員との協議により行う。

3. 現在の実施状況と今後の予定

現在、第Ⅰ期基礎カリキュラムを実施途中である。第Ⅰ期基礎カリキュラムの延べ受講申込者数は1373名、各コース申込者の資格・免許の分類は図2に示す通りであった。子育て支援に関わる専門職の「卒後再教育」に対するニーズは高いと言える。現在、第Ⅰ期基礎コース受講者の授業評価結果をもとに、開発調査委員と、第Ⅱ期履修カリキュラムの検討中である。今後は、履修カリキュラムを修正開発すると同時に、履修システムの構築及び履修終了者の支援体制についても検討していく予定である。

表1. 履修カリキュラム原案

授業形態	内容	研修時間	受講形態	内容	研修時間	受講形態	内容	研修時間
【産後うつケア・虐待予防(基礎)コース】15時間			【食育実践指導(基礎)コース】15時間			【早期発達支援(基礎)コース】15時間		
1 講義	児童虐待の虐待への援助-虐待を予防するために	2	1 シンポジウム	食育への取り組み(事例報告)	2	1 講義	Infant E アンバー-産後うつスクリーニングの概要	2
2 シンポジウム	虐待に悩む児童からの虐待予防の体験	2	2 講義	食育の心	2	2 技術演習	Infant E アンバー-産後うつスクリーニングの判断	2
3 講義	産後うつ病とPTSDの概観	4	3 講義	食育への取り組み	2	3 講義	コメディカルのための講話(カンパニオン)	2
4 シンポジウム	虐待における虐待者からの虐待予防体験	2	4 パネルディスカッション	食育への取り組み(事例報告)	2	4 講義	社会福祉協議会の養育士紹介システム	2
5 講義	MCU (母と子の関係を考える会) とは何か	2	5 講義	食育の必要性-からだ(消費生活-前)	2	5 講義	親支援と自立支援の進め方	2
6 シンポジウム	虐待-食育-学校関係機関における連携	2	6 講義	食育の必要性-五感-こころ-からだ食育	2	6 シンポジウム	地域の発達支援ネットワークのあり方	2
【産後うつケア・虐待予防(専門)コース】30時間			【食育実践指導(専門)コース】10時間			【早期発達支援(専門)コース】30時間		
1 講義	産後うつ病の概観	2	1 講義	食育実践-食育-食育おもしろ体験	2	1 技術演習	養育士の準備	2
2 技術演習	経産-産後うつ病(ヘルスケア)	2	2 講義	食育実践の責任と安全ケア	1.5	2 技術演習	ボ-ナ-活動実践講座	1.5
3 技術演習	経産-産後うつ病(メンタルヘルスケア)	2	3 講義	経産-産後うつ病の特性と安全ケア	1.5	3 講義	自立のための指導プログラム	2
4 実習	MCU (母と子の関係を考える会) 実践講座	1.5	4 講義-技術演習	産後/産前ケアプログラム(事例) 実践	3	4 講義	3訂の発達プログラム	2
5 講義	虐待予防の基本的知識	3	5 技術演習-技術演習	発達実践-食育カンパニオンの方法	3	5 講義	ソーシャルスキル発達支援の進め方	2
特別研修	発達障害の理解と支援	4	企業研修	修了者対象企業研修				



図1. 事業の概要

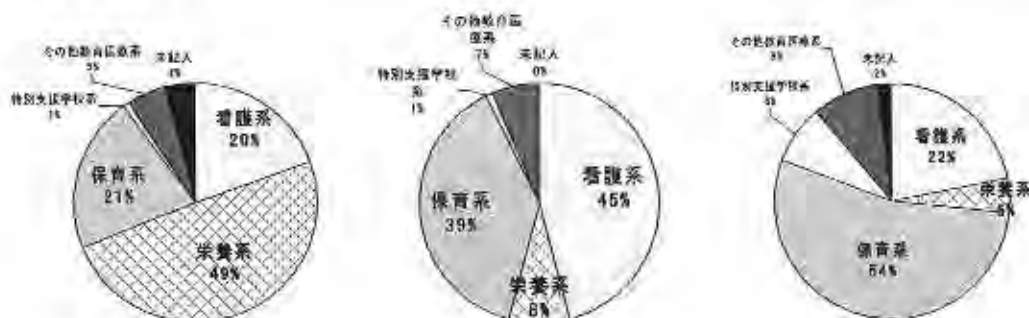


図2. 各コース申込者の資格・免許の分類